

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 ブックスタート おしゃべりタイム	3	4 あかちゃんおはなし会 10代向け学習席開放	5 一般イベント 「まちとみどりの 実験入門」
6 よみきかせ	7 休館日	8	9 ブックスタート おしゃべりタイム	10	11 10代向け学習席開放	12 ブックスタート
13 一般イベント 「練馬の 歴史的建造物」 よみきかせ	14	15	16 おはなし会 ブックスタート おしゃべりタイム	17 児童イベント 「託児つき 読書タイム」	18 あかちゃんおはなし会 10代向け学習席開放	19 一般イベント 「ういんぐ ひとりひとりの表現展」
20 一般イベント 「ういんぐ ひとりひとりの表現展」	21	22	23 おしゃべりタイム	24 休館日	25 10代向け学習席開放	26 ブックスタート
27 青少年イベント 「ことばをつなぐ仕事 ～翻訳家の世界～」 よみきかせ	28 休館日	29	30 よみきかせ ブックスタート おしゃべりタイム			

講演会

お仕事講座 「ことばをつなぐ仕事～翻訳家の世界～」

青少年イベント



石神井図書館では毎年、青少年を対象に「お仕事講座」を開催しています。さまざまな仕事について知ることで、働くことへの理解を深め、将来の進路や職業について幅広い視点を持つきっかけとなることを目指しています。今回は翻訳家の仕事を通して、ことばや読書に関わる仕事への関心を深める機会になればと考えています。講師には、法政大学名誉教授で、『月と六ペンス』『青空のむこう』など、数多くの作品を翻訳されている翻訳家の金原瑞人氏をお迎えします。翻訳の仕事とはどのようなものなのか、仕事のやりがいや魅力について、ご自身の経験を交えながらお話しいただきます。対象は青少年ですが、申込期間中に定員に達しなかった場合は、一般の方もお申し込みいただけます。翻訳の世界に興味のある方は、ぜひご参加ください。



金原瑞人氏(写真：石川真魚)

日時：令和8年9月27日(日) 午後2時～3時30分
対象：青少年(中学生以上) 定員：50名 申込：ホームページ、電話、カウンターにて受付
申込み受付期間：9月17日(木)まで ※定員を超えた場合は抽選となります。

講演会

第2回 まちのみどりを育む講座 「まちとみどりの実験入門」

一般イベント



みどり豊かな練馬区では、地域に暮らす人たちが、まちのみどりを育む様々な活動に参加しています。石神井図書館では、地域の人が参加する、みどりの活動を紹介する講座を開催します。今回は石神井で地域の在来種による緑化に取り組む「まちとみどりの実験室」代表の奥野もも氏を講師にお招きします。活動のお話をうかがうほか、落ち葉や剪定枝を土に還す「バイオネスト」を見学します。石神井氷川神社で行われている「バイオネスト」は、定期的にオープンデイを開催し、参加者と体験や学びを共有しています。本講座は昨年図書館で開催した、練馬区のみどりの現状やみどりを育む活動を紹介した「まちのみどりを育む講座」のシリーズ第2弾です。身近な地域のみどりの活動について、見て知ることからはじめてみませんか？



日時：令和8年9月5日(土)午前10時～12時30分 対象：一般(中学生以上)
定員：20名 申込：ホームページ、電話、カウンターにて受付
※申込受付期間は終了していますが、定員に達するまで引き続きカウンター・電話で受け付けます。

灯籠が浮かぶ夏の夜、石神井の池で図書館もひと漕ぎ



8月1日の宵の口、石神井公園の夏の風物詩「納涼灯籠流しの夕べ」が開催されました。ボート池には大小さまざまな灯籠が浮かび、夕暮れの水面をやわらかな光が彩りました。小さな灯籠は個人参加のもの。参加者が思い思いの文字や絵を描き、それぞれの願いや気持ちを込めて池へ流します。大きな灯籠は近隣の公共施設が制作したもので、手漕ぎボートに乗せて池をゆっくりと巡ります。

「灯籠流し」は今年で76回目。戦後間もない昭和25（1950）年当時の石神井商光会が、戦禍を悼み、また町に賑わいを戻すべく始めました。石神井図書館の参加は今年で3回目。地域のさまざまな施設や人とつながること、そして「石神井には図書館がありますよ」と地域の皆さんに知ってもらうことも、図書館が参加する大切な理由のひとつです。

当日午後6時、まずはスタッフNが漕ぎ出しました。池の上から見る景色は、岸から見るのとはまた違います。灯籠の明かり、夏の夕暮れ、池を渡る風。なかなか風情のある時間です。ところが、夏の天気はこちらの思い通りになりません。40分ほど経った頃から雨が降り始め、やがて雷雨に。安全のため、催しは一時中断となりました。灯籠ボートも、しばし雨宿りです。その後、天候が落ち着き、7時過ぎに再開。今度はスタッフSがボートを漕ぎます。Sは念願の参加だけあり、気合い充分です。岸から「あ、図書館だ！」という子どもの声に、こちらも手を振って応えます。

灯籠の光と、思わぬ雨と、子どもたちの声。今年もまた、夏の夜らしい、ちょっとドラマチックなひとときとなりました。

参考資料：調べ学習用地域資料カード
（所蔵棚：こどもちいき 請求記号：09）



児童展示のおすすめ

たいせつな木とのメモリー

児童図書



『テスの木』 ジェス・M.ブローヤー/文 ピーター・H・レイノルズ/絵 なかがわちひろ/訳

テスは、庭にある大きな木が大好きです。樹齢175年にもなるその大きな木は、テスが生まれる前からそこに立っていました。テスは木にブランコをつるしたり、木陰で遊んだり、話しかけたり、秋には落ち葉の中で遊んだりしました。木はいつもテスのそばにいてくれる大切な友だちでした。ところがある嵐の日、木の大きな枝が折れてしまいます。このままでは危険だと、木は切り倒されることに。大好きな木と過ごしてきた時間を思い返し、別れを受け入れられず、悲しみや怒りをぶつけるテス。けれど最後にテスが思いついたのは…？

大切なものとの別れを、子どもの目線から描いた物語。秋の木を眺めながら、身近な木との思い出を思い浮かべてみたくなる一冊です。（石神井図書館スタッフ T.）



9月のピックアップ展示

令和8年8月25日(火)～令和8年9月27日(日)

児童展示 「あきのポケット」



青少年展示 「気になるタイトル本」



一般展示 「秋といえば…」



CD展示 「ROCK FESTIVAL 2026」

